

令和7年度長井市訪問看護ステーション運営協議会 会議録

1. 開催日時：令和7年10月29日(水) 17:30～18:30
2. 開催場所：長井市役所2階庁議室
3. 出席者：15名（委員7名、事務局8名）
 - 協議会委員：梅津一彦会長、芳賀俊和副会長、伊藤雄介委員、岩崎清美委員、佐々木孝委員、高橋麻紀委員、竹田香織委員
 - 事務局：梅津義徳厚生参事、菊地千賀健康スポーツ課長、塚田恵美子健康スポーツ課健康推進室担当課長、鈴木由布子補佐、加藤紀子訪問看護ステーション管理者、小関亮也主任、井渕真弓主任、大道寺祥矢看護師

【次第】

委嘱状交付

- 1 開会
- 2 副市長あいさつ
- 3 長井市訪問看護ステーション運営協議会について 資料1
- 4 会長・副会長の選出
- 5 会長あいさつ
- 6 委員・事務局紹介
- 7 報告・協議
 - (1) 令和6年度 訪問看護事業報告について 資料2
 - (2) 令和7年度 訪問看護事業進捗状況について 資料3
 - (3) 令和7年度 訪問看護利用者満足度調査結果報告について 資料4
 - (4) その他
- 8 事例紹介
- 9 その他
- 10 閉会

【会議録】

1 開会

2 副市長あいさつ

○齋藤環樹 副市長

皆さまこんばんは。本日はお忙しい中、長井市訪問看護ステーション運営協議会にご出席いただき、只今は委員をお引き受けいただきまして、重ねて感謝申し上げます。長井市の訪問看護事業につきましては、医師会、歯科医師会の先生方をはじめ、公立置賜長井病院、関係団体の皆さまには、日頃よりご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

高齢化が進む中、高齢化比率の増加や病院での在院日数の減少により、医療処置が必要ながらも在宅療養をせざるを得ない方、できる限り住みなれた地域で自分らしい生活を送りたいと在宅療養を希望する方が増えてきております。こうした中、訪問看護ステーションは、市民の皆さまが安心して在宅療養ができるよう、ますます重要となってきております。当ステーションにおきましても、年々利用者数が増えており、在宅看取りなどの終末期の看護にも力を入れているところでございます。こうした在宅療養を支えていくために

は、各関係機関の皆様と連携をさせていただきながら、事業を進めて参りたいと思っております。

結びになりますが、この協議会につきましては、後程、健康スポーツ課長より説明をさせていただきますが、長井市訪問看護ステーションの運営に対しまして、様々な忌憚のないご意見を頂戴し、あわせて今後も長井市訪問看護ステーションの運営に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は長井市在宅医療推進協議会から引き続きご出席をいただいている委員の方もおられると伺っております。お疲れのところ誠に恐縮でございますが、よろしくお願いいたします。

3 長井市訪問看護ステーション運営協議会について

長井市訪問看護ステーション運営協議会について 資料 1

資料 1 に沿って、事務局から説明。

4 会長・副会長の選出

梅津一彦会長、芳賀俊和副会長 選出

5 会長あいさつ

ただいま選出されました、長井市西置賜郡医師会副会長を務めております梅津でございます。

本日は委員の皆様、大変お忙しい中、訪問看護ステーション運営協議会にご参加賜りまして誠にありがとうございます。また訪問看護の皆さまには日ごろから大変お世話になり、誠にありがとうございます。本日は協議会の目的に沿ってよろしくお願いいたします。

6 年ごとに国が定める基本方針に沿って都道府県が策定する医療計画というものがあります。限られた医療資源を効率よく活用するために策定するもので、2024 年から第 8 次医療計画の事業が始まっております。この中で在宅医療はますます注視されているところでございます。西置賜地区の高齢化率、総人口に対する 65 歳以上の市民の割合は、令和 4 年 10 月 1 日現在 38.5%で、全県 34.8%を上回り今後も上昇すると推計されています。また、ひとり暮らし高齢者割合、65 歳以上の人口に対する一人暮らしの高齢者の割合は西置賜地区が 13.3%で、全県 12.9%を上回りいずれも西置賜地区で顕著な状況です。一方で西置賜地区の 65 歳以上の高齢者数は 2020 年をピークにすでに減少に転じた状況と考えられ、急激な人口減少のもと高齢化率が今後も上昇することは避けられません。公共交通機関の利用が難しいことや冬期の交通障害による医療、介護資源にアクセスできない高齢者が増加することが懸念され、これらを念頭に置いた体制の整備が必要です。診療所医師も高齢化していることから、訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護、訪問薬剤管理指導、訪問栄養食事指導等、多職種連携で在宅医療提供体制を確保、充実する取り組みが必要です。日本では在宅医療、介護資源も限られることから、介護施設等の自宅以外での高齢者の生活の場における医療的な支援を充実させていくことも求められています。

こうした流れの中で、在宅医療を支える要となっているのが訪問看護であり、訪問看護は生活の場に根差した包括的な支援ができ、在宅での看取りを支える重要な存在であり、多職種連携の要としても欠かせません。医療系、福祉系の多くの専門職が関わる在宅医療において、訪問看護師は現場の情報を的確に共有し、チーム全体をつなぐ調整役を担っています。また、難病や医療的ケア児等の地域での生活を可能とするための整備も求められ

ているところです。

これからさらに高齢化が進む中で、訪問看護の質の向上、人材の確保、地域の連携強化が全国の共通課題となっています。本日は訪問看護ステーションが、今後地域のニーズに合ったサービス提供によってより良い事業を行えるように、それぞれの立場からご意見を賜りますようお願いいたします。

6 委員・事務局紹介

7 報告・協議〔座長＝梅津会長〕

(1) 令和6年度 訪問看護事業報告について

資料2

資料2に沿って、事務局から説明。

(2) 令和7年度 訪問看護事業進捗状況について

資料3

資料3に沿って、事務局から説明。

(会長)

地域への積極的な展開という項目においては、長井病院祭りに参加する他に具体的にどんなことが考えられるでしょうか。

(事務局)

今年度は長井病院祭りに参加をさせていただいて地域に発信させていただきました。他には、去年ですと社会福祉協議会からの依頼を受けて、「介護者の集い」で訪問看護について市民向けに資料を作りお話させていただきました。また、訪問看護ステーションのパンフレットを作成しておりますので、そちらを地域包括支援センター長井病院支所に置かせていただき、地域へ発信させていただいております。

(3) 令和7年度訪問看護利用者満足度調査結果報告について

資料4

資料4に沿って、事務局から説明。

(会長)

平均点 88.2 点ですからとても優秀な結果だと思います。緊急時の対応など、遅い時間ですと本当に大変だと思いますが、引き続きよろしくお願いします。

それではここで委員の皆様からご意見、ご感想をいただきたいと思います。それでは名簿順でお願いいたします。

(副会長)

多職種連携は今後重要だという認識はあるのですが、歯科の場合ですと、長井市からの依頼や直接患者さんからの依頼で訪問して歯科治療を行います。自分一人で行ったり、歯科衛生士さんを連れて行ったりして訪問歯科治療を行うわけですが、やはりケアマネジャーさんとか、かかりつけ医とか、看護師さんとの話し合いを綿密にしながら、歯科治療をどうするかをご家族の方と話し合って治療方針を決められれば一番良いのですが、我々が訪問してもどこまで手を付けていいのか迷う場合もあります。認知症の患者さんの場合、義歯を作製するかどうかなど、難しい場面に出くわし、悩むこともありますので、我々も

勉強していかないとと思っています。今後、訪問看護ステーションの方とも情報共有していければと思います。

(委員)

あやめ調剤薬局駅前店とアイン薬局には、クリーンベンチを設置しておりますので、必要なケースがあれば対応できる体制を整えております。ただ、まだまだ経験がないものですから、勉強していかないと考えております。訪問看護での内服薬管理ですが、私たち薬剤師が訪問して薬をセットすることができますので、訪問看護師さんには利用者さんの看護に集中していただけるようになれば良いなと思います。ご相談ください。

(委員)

特に質問とかはなく、いつもお世話になっております。先ほどの報告でもあったように、全く訪問看護ステーションから断られた記憶はなく、いつもご相談すると前向きに検討していただいて、患者さんを病院から訪問看護ステーションの方に安心して移行できる存在であり、いつも心強く思っております。またよろしく願いいたします。

(委員)

在宅の高齢者の支援をする上で、やはり健康不安や医療依存度の高い方については、訪問看護師さんの利用をお勧めしております。最近の事例ですと、退院のタイミングで、状態や体調が悪化した時に備えて訪問看護さんをお願いする事例が多くありました。やはり入院前の状況とは変わり、退院後自宅で介護することに不安を感じる方が多いです。そのような状況で訪問看護さんに介入していただくことで、本人の体調管理も含め家族の精神的な不安・負担も軽減できていると常に思っているところです。アンケートにもあったように、家族の方も満足されている状況だと思っておりますので、今後も状況に応じたご支援をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

(委員)

私は障害のある方の相談支援業務をしております。介護保険の方とは違って、障害のある方でも元気な方は訪問看護につながることは少ないです。必要性がある方という、精神科で訪問看護の関わりが必要な方、あとは病気や事故等でお身体や脳に障害を持たれ、医療的ケアが必要になり、退院時に在宅に戻るにあたり訪問看護が必要という方が多くいらっしゃいます。新規で関わるケースでは、訪問看護の必要性が高まっていると感じます。今年度のケースで1件、訪問看護だけではなく、訪問リハビリが必要なケースがあったと把握しております。看護師さんの訪問だけではなく、リハビリの訪問を必要とする方も多くいらっしゃいますので、長井市訪問看護ステーションさんでも、リハ職の配置を今後ご検討いただければと思います。今は米沢の訪問リハビリから来てもらっている方も実際おられますので、より身近で支援していただけると嬉しく思うところです。どうぞ引き続きよろしくお願いします。

(委員)

24時間巡回介護えがおと竹田ケアホームの利用者様で、医療依存度の高い方、例えば人工肛門とか膀胱留置カテーテルの方に、ここにおられる先生の往診ですとか、長井市訪問看護ステーションさんの訪問看護に介入してもらっており、夜間帯や緊急時に訪問看護師

さんを要請させていただいたり、先生に連絡を取らせてもらえたりすると、私たちヘルパーとしては心強く、大変ありがたく思って仕事をさせていただいています。なかには特別養護老人ホームを希望なさっていても、医療面でのトラブルが多いとなかなか入所できない状況もあるのですが、そんな中でもいち早く訪問看護師さんがトラブルに対応してくださり、私たちも正直、夜中やたびたび重なって依頼するときは、申し訳ないなと思ってお呼びするのですが、やさしい雰囲気でお越しいただくと、私たちスタッフもとても安心でき、本当にありがたく思います。

私たちの事業所では口腔ケアにも取り組んでいるのですが、ご高齢の方は食べることができる方はとても体調は安定しますし、義歯の修理も歯医者さんにつながっていると、私たちもお食事の提供等スムーズにお渡しできるので、今後は歯科医院の先生や歯科衛生士さんとの連携も強く取らせていただきたいと考えています。今後ともよろしく願います。

(会長)

私の感想としては、在宅で診ている患者さんで状態が悪い方に訪問看護をやっていただくと本当に助かります。急な呼び出しがあると、すぐ対応できない場合も多いですので、そういうときに看護師さんが先に行って状態をみてもらうと本当に助かります。医療系と福祉系のコミュニケーションがなかなか悪いと言われていまして、医者の方から歩み寄っていかないといけないのですが、なかなか難しい点もありまして、その間になってくださるのが訪問看護の役割として期待されているところでもありますので、今後よろしく願います。

以上で予定されている協議はすべて終了いたします。スムーズな協議進行にご協力いただきありがとうございました。

8 事例報告について

9 その他

10 閉会